

県政報告

福岡県議会議員 (糟屋郡選出)

とみなが

富永よしゆき

Vol.11

2022年9月



2022年 月 日 時頃

ご挨拶に参りました。

糟屋郡7町(宇美町・粕屋町・篠栗町・志免町・新宮町・須恵町・久山町)にお住まいの皆さま、こんにちは!糟屋郡選出の県議会議員の富永よしゆきです。県議会6月定例会のポイントや富永よしゆきの活動報告をさせていただきます。

▶福岡県議会6月定例会のポイント

【補正予算】(一般会計)約137億2,700万円を可決。 ※詳細は下段に記載しています。

原油価格、物価高騰緊急対策、新型コロナウイルス感染症対策など

【議員提案条例】「福岡県における議会関係ハラスメントを根絶するための条例」を可決。

6月県議会は6月3日(金)に開会し、一般会計で約137億2,700万円の補正予算議案の他、条例議案、専決処分議案、工事請負契約に関する議案、人事議案が提出されました。補正予算議案は、早期議決案件として開会日に関係常任委員会での審議を経て、可決されました。その他の議案は、閉会日の21日(火)に可決されました。

同日、議員提案の「福岡県における議会関係ハラスメントを根絶するための条例」を賛成多数で可決しました。同条例は、言動による嫌がらせいわゆる「票ハラ」を防止する内容も含んでいます。今後新たに議員を目標される方を守る条例となることを私も期待しているところです。



▲本会議場での採決の様子です。

▶コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策

6月補正予算(約137億2,700万円)の主な内容 「★」は、新規のものや富永が特に重要だと考える項目です。

■事業継続の支援■

★肥料の購入経費を支援(農家への支援)	22億3,270万円
小規模事業者の売り上げ増の取り組みを支援	3億2,527万円
地域商品券の追加発行により地域の消費喚起	6億4,280万円
★カスタマーハラスメント対策を支援	354万円

■危機に強い経済構造の実現■

経営革新計画に取り組む中小企業を支援	11億7,055万円
半導体等の成長分野を支える人材を育成	1億1,770万円
★小麦の安定供給体制を強化	3億1,557万円
★米粉の利用を拡大	5,780万円
自給飼料の生産を拡大	1億1,465万円
★農林水産物の販売・消費拡大	3,026万円



■物価高騰等に直面する生活困窮者の方への支援■

★生活福祉資金特例貸付の申請期間を延長(令和4年6月末→令和4年8月末まで延長)	1億9,951万円
★低所得の子育て世帯に特別給付金を支給	6億5,025万円
★材料費高騰に伴う給食費の保護者負担を軽減	8億5,170万円
居場所づくりによる孤独・孤立対策を実施	431万円

■新型コロナウイルス感染症対策■

★PCR検査、医療費支援等を実施	22億2,233万円
宿泊療養施設を確保	12億3,762万円
★自宅療養者に対する健康観察を実施	6億5,462万円

所属する農林水産委員会でも審議を行いました。補正予算の詳細は、県庁ホームページでご覧頂けます。

22世紀につなぐ県政に! 糟屋郡7町の未来に全カトライ! 古い政治に強烈タックル!

▶2022年6月14日(火) 服部知事に質問をしました。 『福岡県デジタルトランスフォーメーション戦略について』

Q.『福岡県デジタルトランスフォーメーション戦略』(以下、DX戦略)とは?

A.誰もが安心して、たくさんの笑顔で暮らしていける福岡県をつくることを目標として、県のDX、デジタル化に向けた取組を強化・加速させるための戦略で本年3月に策定されたものです。(県庁H.P.より)

Q.『DXレポート～ITシステム「2025年の崖」の克服とDXの本格的な展開～』とは?

A.経産省が2018年9月に公表したレポートで、既存システムが足かせとなったり、IT人材不足が2025年までに約43万人にまで拡大する等、課題が山積していることを指摘したものを。これを改善できない場合、**経済損失が2025年以降に年間最大12兆円にのぼる可能性があることを、「2025年の崖」と表現、警告したことが話題になりました。**



▲登壇時の様子(写真:議会事務局提供)

▶富永の思いと今回の質問の意図

行政のデジタル化については、2020年の12月定例会でも、「押印廃止と行政のデジタル化」と題し、その推進を当時の小川知事に要望をしてきました。前述の「2025年の崖」の影響は、規模を問わず、企業や個人事業主の方にも及びます。また、経営者だけでなく、現場で働く方の働き方に直結することは、富永自身が民間企業に9年間身を置中で痛感してきたことでもあります。更に、ビジネスの恩恵を受ける方やユーザー(消費者)にも影響が及び、それは、行政サービスにおいても同様のことだと言えます。2025年頃には、20年以上稼働し続けているレガシーシステムが国内のシステム全体の6割に達すると予測されています。コロナ禍を契機に世界では、デジタル化が更に加速しており、本県においても、デジタル人材の育成支援など、更に施策を強化すべきだと考えます。

▶主な質問内容 (紙面のスペース上、要約です。全文は県議会 HP で動画でご覧頂けます。↓)

- ①中小企業のデジタル化、DXの状況と課題について
- ②中小企業のデジタル化、DX推進のための取り組みについて
- ③県の行政手続きのオンライン化のこれまでの取り組みと進捗について

知事:県庁全部局の手続き約8,400を対象にオンライン化を実施してきた。

約260(2020年3月末) → 約4,400(2022年5月末) と大幅に拡大した。

(未実施の約4,000のうち、約600は今年度中に実施予定。残り約3,400は法令等の見直しが必要。)

- ④県行政におけるDX推進の課題について

知事:上記の法令の見直しその他、財務会計、人事給与、庶務事務を行う基幹系システムが稼働後15年を経過し、操作性が悪く、システム間の連携も不十分。システムの再構築には、多額の費用と膨大な作業を要することが課題。現在、部局横断的に設置したプロジェクトチームで詳細な検討をしている。

- ⑤市町村行政のデジタル化支援について



知事要請

【8月9日(火)】所属する会派で5分野16項目の知事要請活動を行いました。新型コロナウイルス第7波の急激な拡大に伴い、更なる対策について知事や県幹部との意見交換をしました。地元の方の「生のお声」を直接、知事に伝える貴重な機会です。私は教育、保育の現場での更なる対策強化を要望しました。



22世紀につなぐ県政に!

福岡県議会議員 富永よしゆき事務所

〒811-2412 福岡県糟屋郡篠栗町乙犬678-1

<https://t-yoshiyuki.jp> ホームページはこちら

☎092-931-5726 FAX092-931-5727



富永 芳行 (39歳・当選1回)

- 県立福岡高等学校(高54回卒・ラグビー部)
- 早稲田大学(アジア社会論/ラグビークラブ)
- 株式会社博多大丸(販促企画/物産展等担当)
- 立憲民主党福岡県第4区総支部代表代行
- 福中・福高同窓会顧問
- 妻、長男(8)、長女(4)と篠栗町乙犬在住